

式 辞

優しく柔らかな日差しとともに、校庭の桜のつぼみが膨らみ始め、春の息吹が感じられるこの良き日に、第五十一回中部小学校卒業証書授与式が行えることを大変うれしく思います。

一一七名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今日の皆さんの服装は、ビシツとしていてかつこ良く、6年間の成長を感じ、小学校を卒業し、中学校の入学に向かっていくという強い気持ちがあひしひしと伝わってきます。

小学校生活の後半の3年間をコロナ禍の中で過ごし、4年では校外学習や運動会が中止に、5年生では林間学校が日帰りに、運動会は学年ごとに、陸上大会と音楽会が中止になるなど、皆さんが生き生きと活動する場が少なくなり、とても残念な思いをさせてしまいました。

6年生の1年間は、コロナ対策をとりながら、いろいろな行事を体験させてあげることができ、先生たちにとっても嬉しい1年間でした。

委員会活動では、各委員会のPR動画を作

りましたね。楽しく見させてもらい、協力し合って発表する姿がとてもかっこよく、よくまとまっていたので、感心しました。

一年生との交流では、児童会の企画で、ピアタイムを4回ほど行うことができました。皆さんの優しい笑顔が印象的でした。

音楽部と陸上部の部活動では、3年ぶりに音楽発表会と陸上大会が行われ、6年生を中心に参加し、すばらしい発表と競技を見せてもらいました。

運動会では、見ているすべての人たちに感動を与えた集団行動とフラッグを使った表現運動。下級生たちに6年生の一体感、たくましさを見せ、当日は、6年間の集大成を保護者の皆様にも披露することができ、その素晴らしさに胸が熱くなりました。

これらの皆さんの活動は、中部小学校の伝統として、5年生に引き継がれていくものだと思います。

初めての宿泊になった日光修学旅行。雨で、戦場ヶ原のハイキングはできませんでしたが、時間や約束事を守り、世界遺産の日光東照宮や華嚴の滝の見学ができ、仲間と同じ部屋で過ごした一泊二日は、一生の思い出になったことでした。

さて、先ほど皆さんに卒業証書を手渡ししま

した。壇上に上がり、証書を受け取り、壇上から降りる姿はたいへん凛々しく立派でした。「かっこいいなあ」と感じました。そこで、皆さんへのはなむけのことばとして、私が思う「かっこよさ」について話したいと思います。

「かっこいい！」

このことばは、どんなときに使いますか。一般的には、

- 顔立ち・体つきが整っている
 - おしゃれである
 - 運動がすぐれている
- 確かにその通りです。

でも、このようでない人は、かっこよくなれないのでしょうか。

私は、人間にはいろいろな「かっこよさ」がある、いつも思っています。だれでも「かっこいい」人になれると思っています。

- 友だちを区別せず、優しく接する姿
- 清掃をいやがらず、黙々と行う姿
- 目標を立てて、勉強やスポーツに励む姿
- お世話になった人への感謝の気持ちを行動に表す、ことばで伝える姿

- 素直にごめんなさいと言える姿
 - 困っている人を助ける姿
- なども、「かっこいい」と思っています。

皆さんは、「かつこいい」人になりたいですか。いつからでもなれます。勇気をもって行動にうつせばよいのです。「かつこいい」人になってみませんか。

保護者の皆様、お子様が今日、立派に小学校を卒業されますことを職員を代表しまして心よりお祝い申し上げます。小学校卒業という節目を迎えられ、これまでのご苦労も大きな慶びに変わっていることと存じます。

この6年間、本校の教育活動に格別のご理解ご協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。これからもお子様が健やかにたくましく成長されますようお祈り申し上げます。

最後に、卒業生の皆さん、4月からは中学生。なりたい自分になるチャンスです。3年間、目標をもって、努力を積み重ね、充実した日々を送り、「かつこいい」人になってください。巣立ち行く卒業生の前途に幸多きことを祈念し、式辞といたします。

令和五年三月十七日

鎌ヶ谷市立中部小学校長

小林 武明